

(参考様式4)

事業所名 グループホーム花縁ときわ館 楓ユニット

目標達成計画

作成日: 令和 5年 12月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	<個別記録と実践への反映> 日々のケアの実践・結果、気付きや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 ～それぞれが工夫しているが、声掛けが不十分なために意思疎通が図れず実践できていないケアがあった。	利用者さんの日々の変化を把握でき、ケアに活かすことが出来る。	日々実践したケアをケース記録に残す時間を作る。他者のケアについてもケースに残すようお互いに声掛けする。 共有すべきことは記録に残すだけでなく、口頭で伝達する。	6ヶ月
2	35	<役割、楽しみ事の支援> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみ事、気分転換などの支援をしている。 ～スタッフの経験年にもよるが、支援出来ている時と出来ていない時がある。	利用者さんの体調に合わせて、役割をもった日々を送ることが出来る。	カンファレンスやケアプランを活用し、利用者さんの役割をスタッフそれぞれが理解する。 経験のあるスタッフは役割を發揮できる時間や機会を作り、新人スタッフへ指導、フォローする。ケアプランと結び付けた指導を行う。 新人スタッフは指導を活かし自分でも実践してみる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。